



災害時の共助について考える

～復旧・復興のカギを握る官民連携の実現に向けて～

場所：いわき市総合保健福祉センター 1F 多目的ホール（オンライン併催）
福島県いわき市内郷高坂町四方木田19-1

時間：13:00～16:00（受付：12:30～）

参加無料

対象：災害支援を行う（行うことを予定している）団体・企業・個人・県内中間支援組織、行政職員、市町村社協職員

ボランティア元年と言われた阪神淡路大震災から30年。その後、何度も大規模な災害が発生しましたが、支援の形はそのたびに進化を続けています。現在は官民連携（行政・社協・民間支援団体の三者連携）による被災地・被災者支援が全国各地で進んでいます。

浜通り地方でも、東日本大震災以後、行政や社協、多くの民間支援団体が災害支援に携わってきましたが、近年の状況の変化に対応しきれていないのが実情です。そこで、あらためて官民連携を進めていくためのメリットを学び、連携を進めていくための研修会を開催します。

講師

（一社）Jump
代表理事

千葉 泰彦



1972年岩手県岩泉町生まれ。2016年台風10号で自宅が全壊被害に遭い失業。公民館での弁当配布をきっかけに、災害ボランティアセンターの運営、相談員事業に従事。2017年一般社団法人Jump設立。2018年西日本豪雨より全国の被災地で支援を実施。現在は、秋田市、酒田市の地域支え合いセンターのアドバイザーを拝命。

講師

日本財団
災害対策事業部

寺田 歩



「災害時における共助の活用の手引き」作成担当。2023年台風第13号（福島県いわき市）、2024年能登半島地震等の災害で、現地支援活動に並行し、NPO・ボランティア団体への資金助成を行う。2025年9月より、宮城県石巻市で「災害対策拠点プロジェクト」の立ち上げを担当し、県域・東北域での防災に対応する体制整備を構築中。

講師

OPENJAPAN
緊急支援プロジェクト代表

肥田 浩



2011年3月東日本大震災で自身の誕生日に防災。石巻で活動している仲間からの要請もあり現地入りしボランティア活動始める。年間350日前後被災地に滞在して災害支援団体間の調整や、行政・社協との連携を図りながら被災された住民さんの心に寄り添う。JVOADの技術委員会にも所属し、平時からの減災活動にも取り組む。

- 13:00 開 会 主催者挨拶
13:05 趣旨説明 馬目 一浩
（一社）ふくしま県域災害支援ネットワーク 理事
（一社）災害支援ネットワークいわき 代表理事
13:15 研 修 「共助の活用」をテキストとした官民連携について
講 師 千葉 泰彦 氏（一社）Jump 代表理事
講 師 寺田 歩 氏（公財）日本財団災害対策事業部
14:45 休 憩
15:00 事例発表・グループワーク 防災時の地域の支援リソースを考える
講 師 肥田 浩 氏（一社）OPENJAPAN 緊急支援プロジェクト 代表
15:50 アンケート記入
16:00 閉 会

お申し込み
締め切り 1 月末日



主催：



一般社団法人

ふくしま県域災害支援ネットワーク



後援（一社）災害支援ネットワークいわき
お問い合わせ 090-2977-3208（担当 岩崎）